

NOTE

BOOK

MADE OF FINEST PAPER

敬学会賞第十八回入選作品

鳥

57

三の六

岸野良子

HIGHCLASS NOTE FOR UNIVERSITIES AND OFFICE KINSEI

180-シ	目次	
280-シ	動機	
380-シ	鳥の種類	
480-シ	ヨシキリ	なかも、リヤウチエウ （のこしはしり）
580-シ	カイツブリ	ヨシキリについで、す、とびかた
680-シ	ヒヨドリ	カイツブリにかた とびかたす
780-シ	鳥の鳴き始め	ヒヨドリについで とびかたす
880-シ	ツバメのいさな	日本 （のこしはしり） のなまはじめ
980-シ	大きくなるまで	す、
1080-シ	糸火のわたり鳥	日本 （のこしはしり） のうたち
1180-シ	ニワトリ	日本 （のこしはしり） にくるより
1280-シ	ひよこのせわ	いつくさ
1380-シ	こ	ニワトリについで えさ
1480-シ	たまごの中	ニワトリの （のこしはしり） の
1580-シ	た （のこしはしり） の	ひよこの （のこしはしり） の
1680-シ	足	ひよこの （のこしはしり） の
1780-シ	こ	足の （のこしはしり） の
1880-シ	ははし	こ
1980-シ	たまご	ははしの （のこしはしり） の
2080-シ	ひなから かわる （のこしはしり）	ははしの （のこしはしり） の
2180-シ	かわってから せまで	ははしの （のこしはしり） の
2280-シ	スズメ	ははしの （のこしはしり） の
2380-シ	カラス	ははしの （のこしはしり） の
2480-シ	ヤマカシラ	ははしの （のこしはしり） の
2580-シ	アカゲラ アオゲラ	ははしの （のこしはしり） の
2680-シ	オオウリ	ははしの （のこしはしり） の
2780-シ	冬鳥 夏鳥	ははしの （のこしはしり） の
2880-シ	こ	ははしの （のこしはしり） の
2980-シ	こ	ははしの （のこしはしり） の
3080-シ	クマタカ	ははしの （のこしはしり） の
3180-シ	いさな （のこしはしり）	ははしの （のこしはしり） の
3280-シ	こ	ははしの （のこしはしり） の

重カ 機

家に、ツユウシマツをからています。

ツユウシマツのせわをしているとき、

なんだか 与りのことをしるべたくなり

ました。そのとき、研究をしなけれ

ばならなかったので、ちょうどよい

と、思、てやりました。

鳥の 種類

1. なかま

1. まきえ鳥

- 。ハト
- 。セキレイ
- 。キンカチョウ
- 。ツユウシマツ
- 。マヒワ
- 。ホオジロ

家などで
かわれている
鳥

3. 天然記念物の鳥

- 。ライチョウ (日本アルプス)
- 。ウミネコ (カブツ鳥)
- 。タンチョウヅル (北の道)

2. いちゅうちょう

1. 山なとににいる鳥

- 。フクロウ
- 。キツツキ
- 。ヤマドリ
- 。キツ
- 。カクセミ
- 。オナガ
- 。ユヅケイ
- 。ツツムカラ

いつも
同じ所に
すんで
いる鳥

2. ぶつう いる鳥

- 。カラス
- 。スズメ
- 。トビ

2. すりえの鳥

- 。ヒバリ
- 。メジロ
- 。ウグイス
- 。コマドリ
- 。ヤマカウラ

夏になると
南の国から
日本にや
ってきて
巣を作
る。



3

1. 水の上に入る鳥

- ・オッドリ
- ・カイツブリ
- ・ヨツキリ

4

2. ヨツキリの巣



- 巣は、川などのふじにつくります

わら かわれ 木
なぐを あつめ
て 作ります

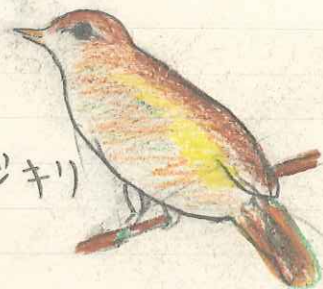
ヨツキリの たまご



- ヨツキリ (ウグハス)
- 夏鳥 4小
- 平地でオオヨツキリと
ともに見ることもあるが
数は少なく高原の湿り地
とヒル毎道の草原などに
多くに多い。声は
オオヨツキリより小さく
あまりふしをつけない。

ギョツ ギョツ ゲリゲッ
ゲリゲッ としづかに
なく

ヨツキリ



2. とひかた



- アツのはえている原の
いたるところで鳴いて
いてさわやかしい
9月には静かになり
南の方へ去る。

4

5

1. カイツブリの巣



- C. 沼地 池
に年中見られる鳥
水の中にもぐること
が上手なので
「モグリ」のよひな
がある。

- ひなは豆貞にすじ
がある。

- なきかたは、
キリリと高い声
でなく

カイツブリ



カイツブリの
たまご



水の中にもぐったとき



- とひかた



5

66.



ヒヨドリ

13. もすゝととも、秋のきた
ことをしらせてくる。
ヒヨドリは 10月におらわ
れます。冬は木の
み 春は さくら などの
花のみつ。夏は
おに、こん虫、き
せつによつて食べます。
山林の 森林で
せうとん 以上の
ところに巣をつくります。



ヒヨドリのす

なまかた

ヒヨドリ 10月におらわ
れる。 9月30日(水)
かじようこうえんに
ヒヨドリがやつて
きました。
とても 声がう
つくしうた。 → → → → → → → →

ヒヨ
ドリ
の
か
た
ち



●はねをかえなからとぶ

4月30日

ク. 鳥のなきはじめの
日

青森
4月20日

福島
3月20日

宇都宮
2月27日

熊谷
2月21日

横浜
3月19日

3月20日

3月31日

3月20日

2月28日

2月10日

浜木公
2月24日

岐阜
3月5日

高知
3月3日

新潟
3月27日

福岡
3月9日

京都
3月8日

熊本
3月6日

●だいたい
ーばんはやく
なく県は
熊谷ぐらり
です。

8.

ツバメのいろいろ

・コシアカツバメ

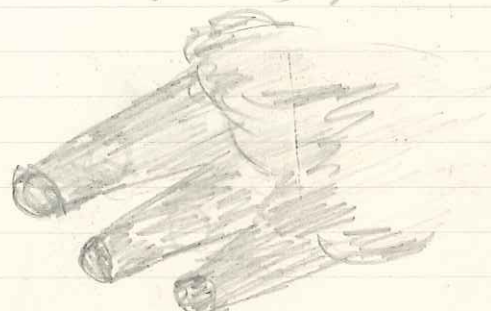
・イワツバメ

・シヨウドウツバメ

・イエツバメ

2. 巣

・コシアカツバメ



・イワツバメ



・シヨウドウツバメ



・つはめのたまご



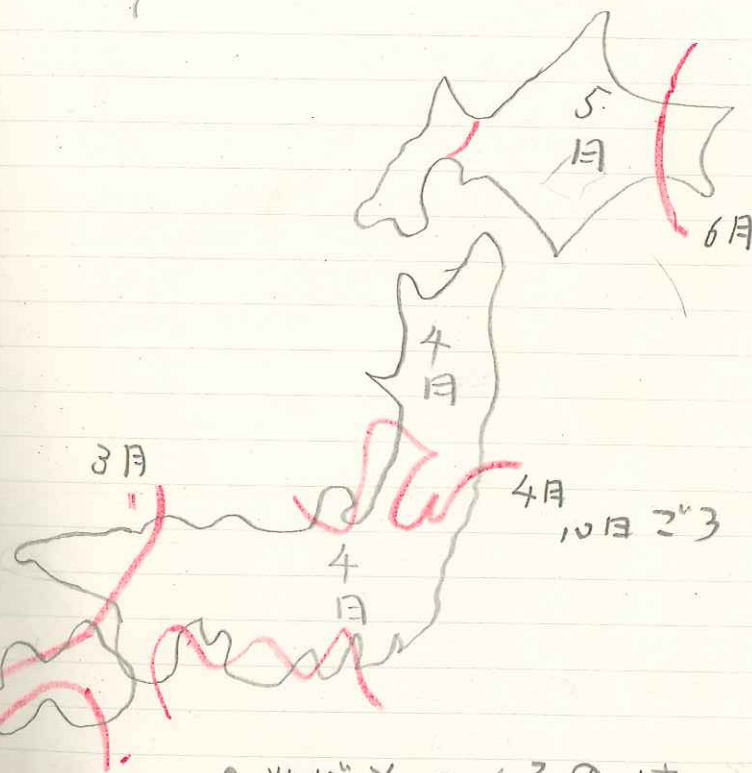
9.

・大きくなるまで

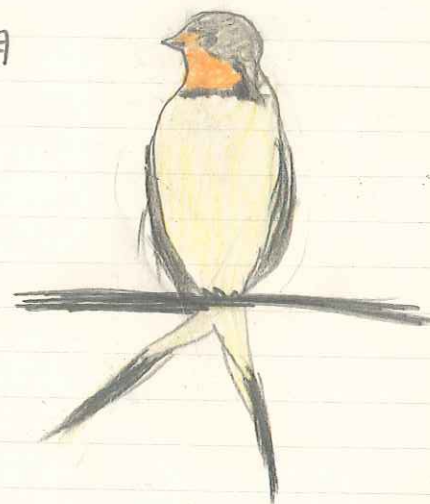
日本にきたつはめは 10日ぐらいたつて
すをつくりはじめ 1ヶ月ぐらいのあいだ
にたまごをうみます。

たまごは、1回に 15日たつてかえり
13日から15日たつてかえり 21日ぐら
いでまたうみます。
7月になると、たまたびで回目のたま
ごを4〜7ころみそたてます。

2. いろいろ日本にやってくるが

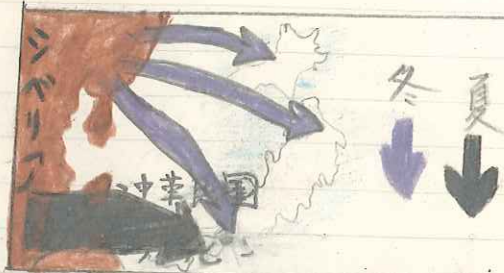


・ツバメの絵

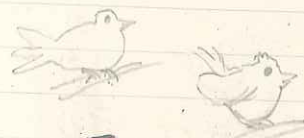


・ツバメのくるのは 本州から
一番多くくるそうです。
多くて4月ごろ
南のオは3月にきています。

10 秋の かり鳥

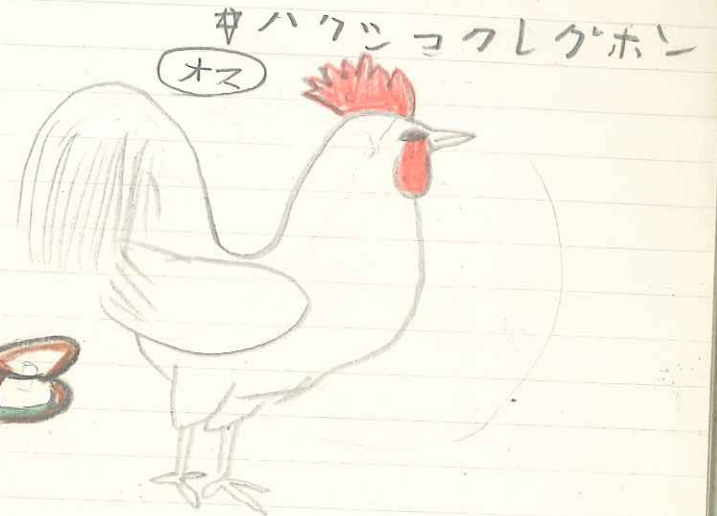


ひょう鳥	冬 十月 - 三月	夏 四月 - 十月
------	--------------	--------------



11 ニワトリ ノニワトリのゆりい

- ・ツリマス ロック
- ・ハクショク レグホーン
- ・ナコヤツコ
- ・チャホ



2 えさ



貝から

- ・貝からは 甲殻をたべたあと 貝殻を こなにして 食べさせます。



とうもろこし

- ・とうもろこし は、ほしてから こなにして 食べさせます。

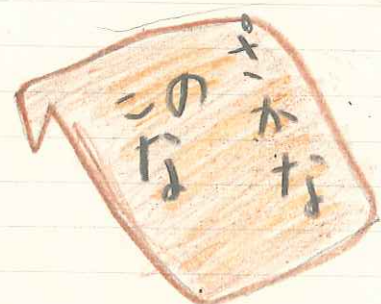


ぬか

- ・とうもろこしや かいからに まぜる ときに つかう



• あおなをまがんでたべさせる



12 ひよこのせわ
くせわ

• 春さきにめんじりか たまごを
うんたう、まいにちださせる

たまごは 18日〜19日ごろに
かえります。

ひよこにかえってから2日〜3日
までは、えさをやさないで、そのま
ま暗い所におく。

その後なるべく日光に

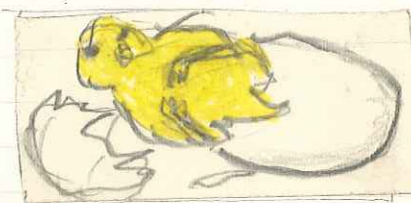
あてるように、べつに ようい

した、はこに入れる。

はじめは、ゆでたまごのきみや水
に、ひたした。ごごめの中にこま
かくきだんだ 青菜をあたえる。

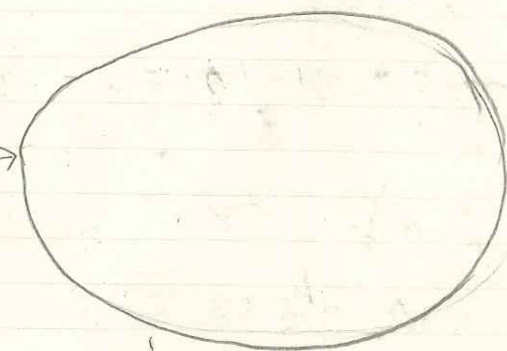
2週間 ぐらいたったら、昼間は
外に出す。4〜5週間
たったら 親見からはなす。

2. ひよこか たまご からかえったようす。

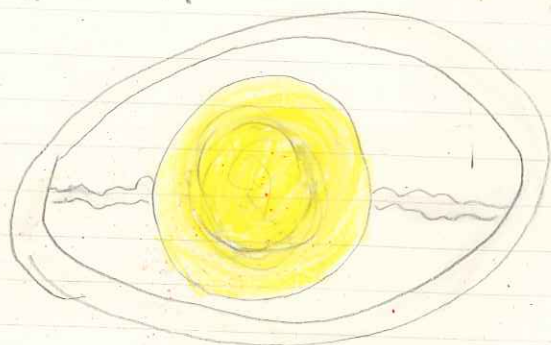


3. たまご

たまご →



4 たまごの中



わたしたちが、たべるとき
なにかにぶつけてわりますね。
それは、中をまもっているために
貝がらを「まぜて、めんどりおに
うみます。

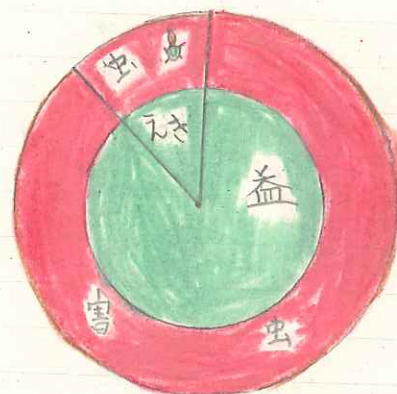
そして、たまごの中が、生長す
ると、そのまわりが、すくすく
よくなります。

たまごよう

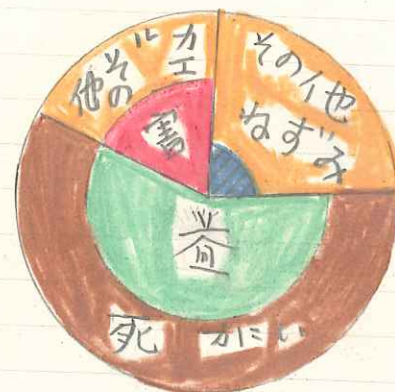
レクリホ! ミルカ、レッド・キャップ
(イタリア) (ミルカ島) (イギリス)
カンビース
(ベルギー)

13. たべもの

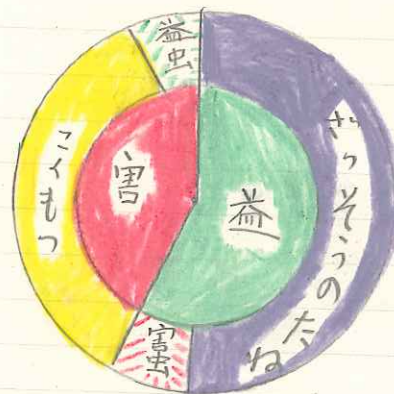
1. つばめ



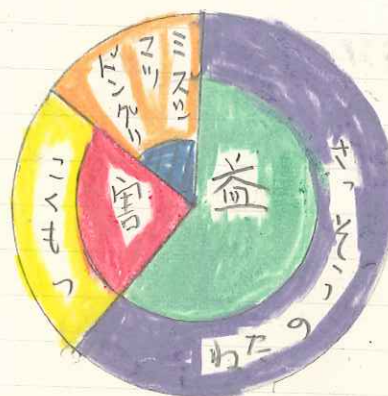
2. トビ



3. スズメ ホオジロ ヒワ



4. カモ ハクチョウ



14 足と口(はいし)
、 足 りくを歩く(と)

タリョウ

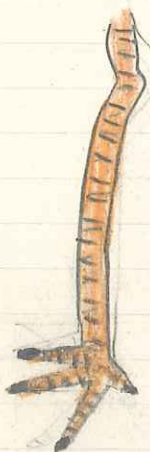


足が大きい
歩きやすい

ニワトリ



ツル



足が長くゆめ
大きく
水辺を歩く鳥
です。

カモ



みじかくって
み水かきがつい
水にいる。かつ
いている。

カイリフリ



ふとくって みちかいのて

へんりです。

水をおよぐ鳥です。

ススツ



キリツキ



ゆびが 前と後に、むき
あてわかれ えだに
とまるのに つごうがよい。

カモの足
(おおいでいるところ)



2. 口ばし



(ワッ) 内食だから

するとい。

(キツツキ) きりのように

とがっている。

(スズメ) こくもつや 虫のよ

(ミワトリ) うな 小さなものを

ひろうめにつごうがよい。

(カモ) くちばしのよこから

水たけかに だすこ

とかに できる。

(ツル) 水の中のもの かに

たへられて。

さかな など

を たへられて

ます。

15. たまご

1. 1回にうむ たまご

ウミカラス
オオミスナキドリ } 1こ

アマツノハメ
ヨダカ
ウミスズメ } 2こ

コチドリ
ヒノバリ
ヤマツキ } 4こ

カナリア 4~5こ

ツバメ
ビュウツマツ } 4~5こ

シツシュウカ
カモ
エナカ } 10こ

ヤマドリ
キツ } 7~12こ

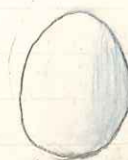
2. たまごのいろいろ



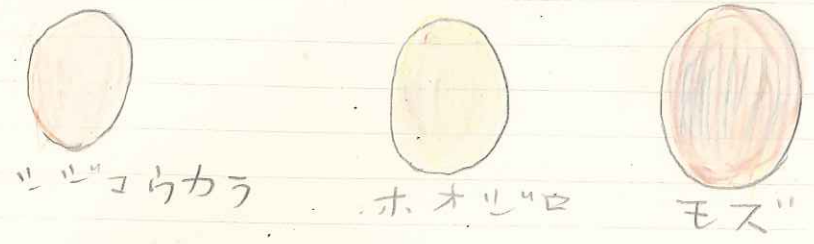
スズメ



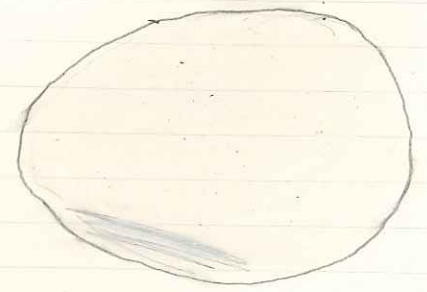
ツバメ



ウグイス



ツツコウカラ ホオツロ モス



カラス

3. ひなが かえるまで

スズメ 11 ~ 12日

カナリア } 14日
ジュウリマツ

ツバメ } 15日
モス

ハト 16日 ~ 17日

カラス 18 ~ 19日

ツグサギ 22日

キツ 24日

4. かえって から すむまで

ヒバリ 8 ~ 9日

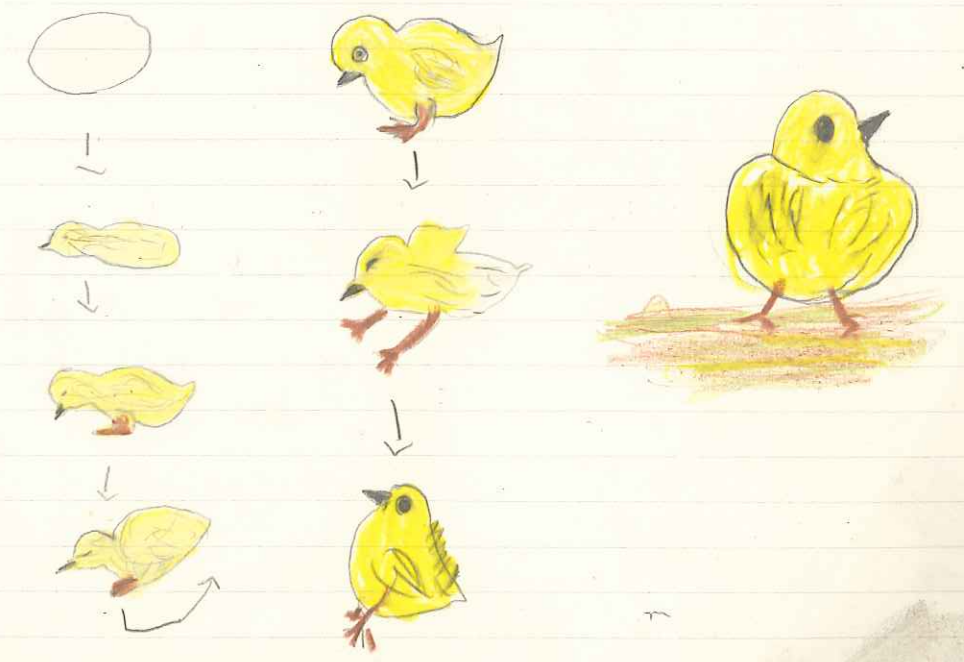
スズメ }
モス } 12 ~ 13日
セキレイ }

ツツコウカラ 14日

ツバメ }
ジュウリマツ } 20 ~ 21日

5. たまご から ひなまで

ツグサギの サマ



16. スズメ

1. スズメについて

スズメは、春から夏にかけて 2回
たまごをかえます。 1回 かえるのに
50～60日かかり 1番こは 4月
のすえに 2番こは 6月のすえに
かえます。

2. スズメから1人まえになるまで

- ①すをつくる日数 ① 10日
- ②たまごをうむ日数 ② 5～8日
- ③たまごをだく日数 ③ 12日
- ④かっからす立まで ④ 14日
- ⑤す立から一人まえになる⑤10日まで

③ ④ちやうい

スズメは、雪鳥のようにかわれて
いますが、じつは、益になる
おカが多いのです。だから、ゆる
しをえなければむやみにとてはいいない。

18. カラス

1. カラスについて

カラスは カアカアと なきます。

みなさんは、カラスを はかりして
いる人が多くいます。

からすは、ほんとうに、アホ、みないな
んですが、とってもいいところも
あるんです。

カラスが、たくさんあつまって、

カア カアと ないたら、人が、しんぱ
ときいたときもあります。



ハッボリカラス

2. リスのえさをねらう ホッボリカラス



リスがえさをたべて
いるときにねらう

19. ヤマガラ

マヒワや ヤマガラや シシユウガラヤ

あの小さな オリーブ色の

キウイタダキなどは、いっしょに、

むれをつくって イー４と

さめめきながら、

木の間を飛び回っています。

かよわい これらの小鳥は、

ーわーわだつと タカにやられ

やすいので いつも むれを

つくっているのです。

● これは、

こすいて さえ する

ヤマガラです。



20 アカゲラ と アオゲラ

ハ アカゲラ アオゲラについて

赤、白、黒、の美しい

腹をきた アカゲラや

うす緑色の アオゲラ

は カラカラカラ……

と、はげしく、みきを

たたいて、木の皮の

下にいる キクイムシを

さがしています。



アカゲラのおさ
(虫)



左の図は、

アカゲラが

木の皮をむ

いて キクイム

シを ぐちに

くわいている

所です

21 オオウツ

人オオウツについて

オオウツは、全長が102cmもあり、冬は、わかに国にやってきて、巣をつくらせて、たまごをうみます。たべものは、ヘビや魚や小鳥などをとってたべます。巣は、木のよにつくります。巣は、大きく、たまごも大きい。



左の図は、オオウツが岩の上からえものをねらっている所です。

22 冬鳥 夏鳥

夏

ホトキス

ツバメ

カッコウ

オオルリ

ツバメは

秋のおわ

りまうに

なると、

南の国

にかえって

いきます。

そして夏が

くるとまた

人本にきて

きて巣をつくら

ひなをかえ

ます。



カッコウ



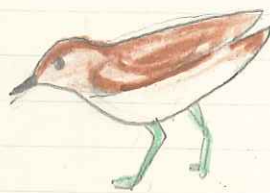
オオルリ

冬鳥

ガン
カモ
ツキ
白鳥



ガン



ツキ

ガンは、
冬のおわり
ころになる
と、北の国

にかえって
いきます。

そして、冬
のはじめころ

日本にやて

きて、ひな

をそだてま

す。

でも、たまご

をいたちや

とくひにぬ

わられやす

い。

、それらは、ひなを育てるために
のから平地にうつてきます。
またモズ、ムクドリは
平地にきて住んでいる
場合もあります。

モズ



モズのくしぎて



とかげ



←かえる

23. クマタカ

クマタカに ついて

大きな、はねを、ひろくはって、
論を、えかにきながら、
グライダーのようにまっ
います。

おなかをすかしているとき、
ササミをみつけたら、もうひこう
きのような、早さで「ウサキ」に、
めかけます。



左の図は、
クマタカが
えものを
さかにして
いる所
です。

24. いろいろな鳥の巣

1. マヒワ



巣は、木の又や木の
間などにつくります。
非常に卵がやわらかく
すぐこわれます。巣は、
卵にくらべて、かえじょうに、できて
おり、中も、あたたかく感じる。
羽が黄や金色なので、飛んでい
いるときなどは、きれいです。

飛び方



2. ヤマノバト
(キツバト)



巣は、
木の { 内 地面などにつく
上 かれた木など、
○ 形に作る。

卵は、ふうふうはた色
で、こ



左の図は、
ヤマバトの巣と卵

飛び方

→ → → →
羽の動き方

~~~~~  
~~~~~

3. カラス



カラスは、木のてや
木の間などの高い
木につきます。

ふつうは、かれ木や
すき"の皮や紙などで固い形に
つきます。

ふけっつな感じにします。

2

NOTE BOOK

Where there's a will, there's a way.

57

鳥

敬学会賞第十八回入選作品

6の3

岸野良子

ページ

目次

いろいろな鳥の単のつぎ

2	す
3	ミ
4	ミ
5	ミ
6	ミ
7	はとのからた
8	ミ
9	はとのからた
10	いろいろなとり
11	いろいろなとり
12	ちかにい
13	いろいろなとり
14	いろいろなとりの舌
15	いろいろな鳥のとびかた
16	ミ
17	尾の形
18	かくる鳥の形
19	ミ
20	せうめい
21	はとのなりやう カワセミ
22	正面からみたとり
23	しゅるい
24	ミ

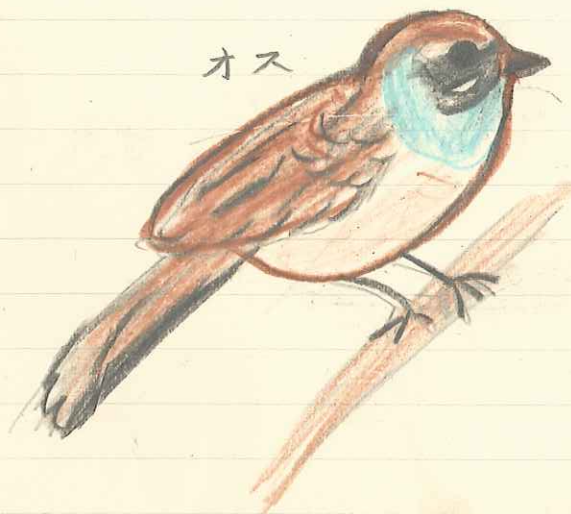
ほおじろ



木の向

ホウシロ

オス



よくちょう 175mm

リゅうちょう

「チョッヒョーヒョーッ
チョッ チュリーッ」と

なく

4 モズ

1 モズについて

モズは、木の上につくります。

豆のような形でかれ木

などでつくってひなを育てます。

子を育てる場合、巣の中にはいて育てる。

なき声は、ギヤギヤジイジイと尾をふりながら

なきます。

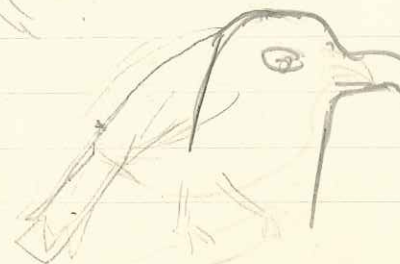
モズには、口ばししか、するどく

できています。



左の図は、モズのすです。

モズの口ばし



子

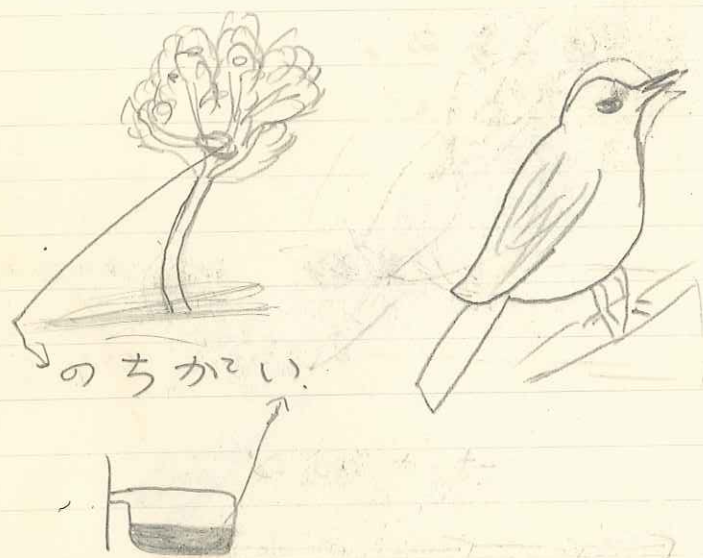
5. ムクドリ

ムクドリについて

ムクドリは、木のエヤ家のやねなどにつく
ります。 木の上につくるのは

はたや 紙や めのかれき、などにつく
ります。

ムクドリのえさは、モンシロチョウのよう虫
や、マアサギ



左の図は、ムクドリ
です。

• ムクドリは、むね
をくっつけている。

• ムクドリは、
水をあそびま
します。
なぜかというと
1日のよぐれ
をあやす
ため。

6. スズメ

スズメについて

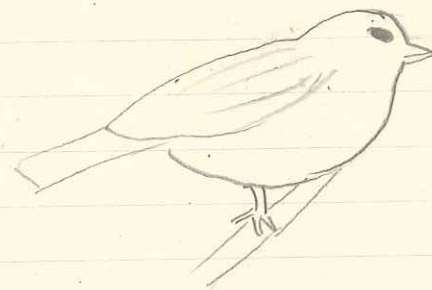
スズメは、やねの中の、すきまなどにつく
ります。

おきには、紙や かれ木などにつくります。

飛び方は、



左の図は、
スズメかに、やね
のすきまをみつ
けてすをつく
たあとです。



× 秋、いねかみの
ったとき、いねを
たぐいにや、てき
まよ。

7. アカゲラ

1. アカゲラについて

アカゲラは、木の中につくります。

おもに、かれ木などにつくります。

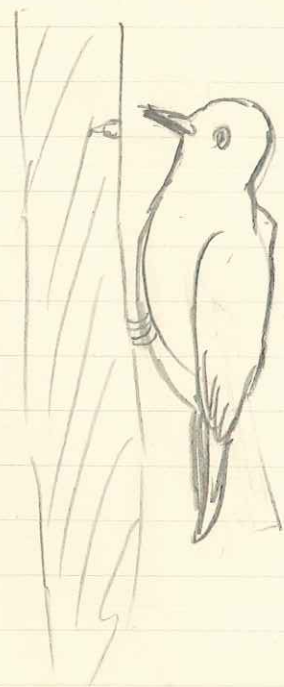
えさは、木の中の昆虫、や虫など

なきかたは、キュキュキュとなく

飛いかたは

~~~~~と飛ぶ。

大きさは、ムクドリと同じくらい



左の図は、

アカゲラです

下の図は、巣です



前からみた、  
巣



巣の中

# 8. ツツユウカラ

1. ツツユウカラについて

ツツユウカラは、すずめ位の大き

さで、木の中に巣をつくらず

育てます。



左の図は、

ツツユウカラが

木にとまる所

です。

2つあります



左の図は、

ツツユウカラの

巣です。

# 9. セグロセキレイ

1. セグロセキレイについて

セグロセキレイはセキレイ科で尾が長く

白と黒のも様です

尾をふるのて ほおぐたいすみ

たいな 感じてす。



• 左の図は、

セグロセキレイ

かに、えさを

さがして

る所です。

• 尾が長いので

とんでいくとき

きれいです。

## 25 からだのつくり

1. ハトのからだ

2. つばさの部分の名



1. 小雨 おおい

2. 中雨 おおい

3. 大雨 おおい

4. 小翼

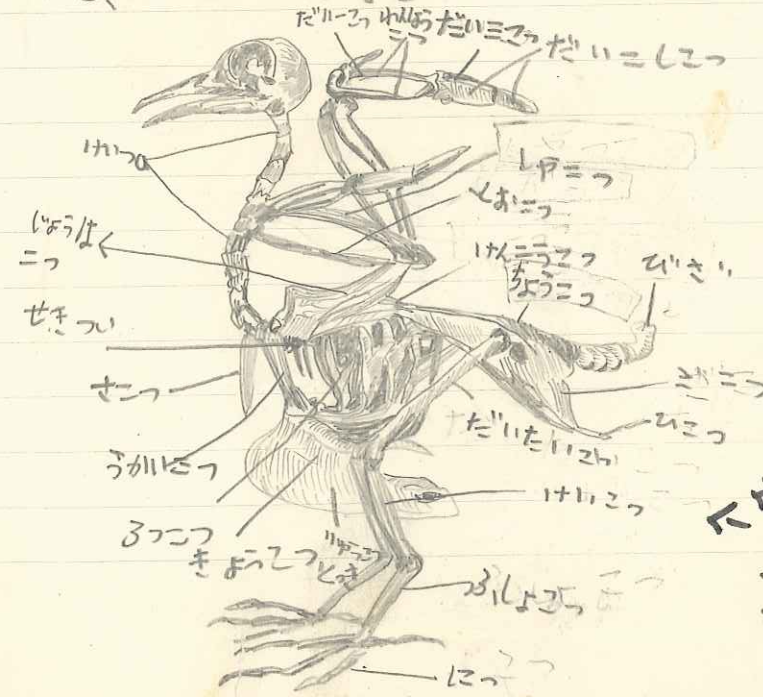
5. 三列風切

6. 次列風切

7. 初列 雨おおい

8. 初列風切

## 3. ハトの骨格



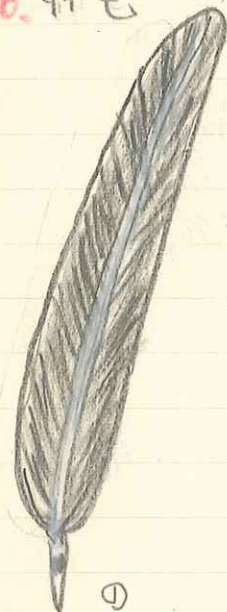
2/アに

つづいて

います。

骨格は、父が書いて下さった集いです

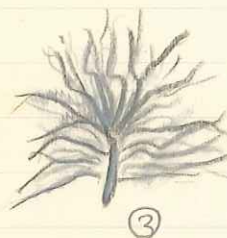
## 26. 羽毛の種類



長羽  
(風切羽)



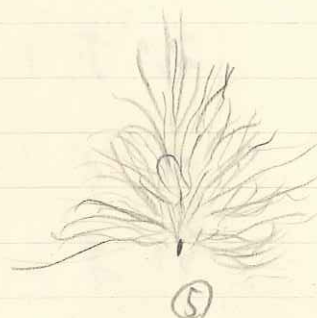
体羽



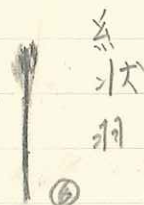
綿羽



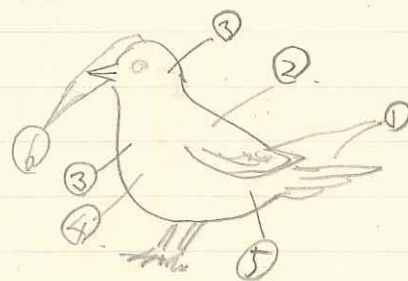
半綿羽



幼綿羽  
(ひな)



糸状羽



## 27. 羽毛の量

| 鳥の名            | 体重    | 羽毛の数   | 羽毛の重量 | 体重にたいする羽毛の重さのわりあい |
|----------------|-------|--------|-------|-------------------|
| 47ドリ           | 75.3g |        | 5.6g  | 7%                |
| カケス            |       | 6,300本 | 12    |                   |
| ツグミ類           |       | 5,521  |       | 9.3               |
| キクイタダキ         |       | 3,100  |       |                   |
| アフリカ<br>ハクトウワシ | 4,082 |        | 677   | 16.6              |

↑ 上のような表でわかったこと

小鳥の羽毛の重さでは 10% 以下ですが

ワシやタカなどの大きい鳥では、つばさの羽

などが強く大きいので 16% になるのです。

スズクは、羽毛の量が、冬は、1.95まで

夏は、1.832です。ライオンは、はきりと

夏羽 冬羽 があるが、頭羽 冬羽の長さかわらない

## 28. ツギとチドリの子かいい

人ツギとチドリは似た鳥で

ツギとチドリ目のなかでツギめと

チドリ科にわかれ、ツギのような

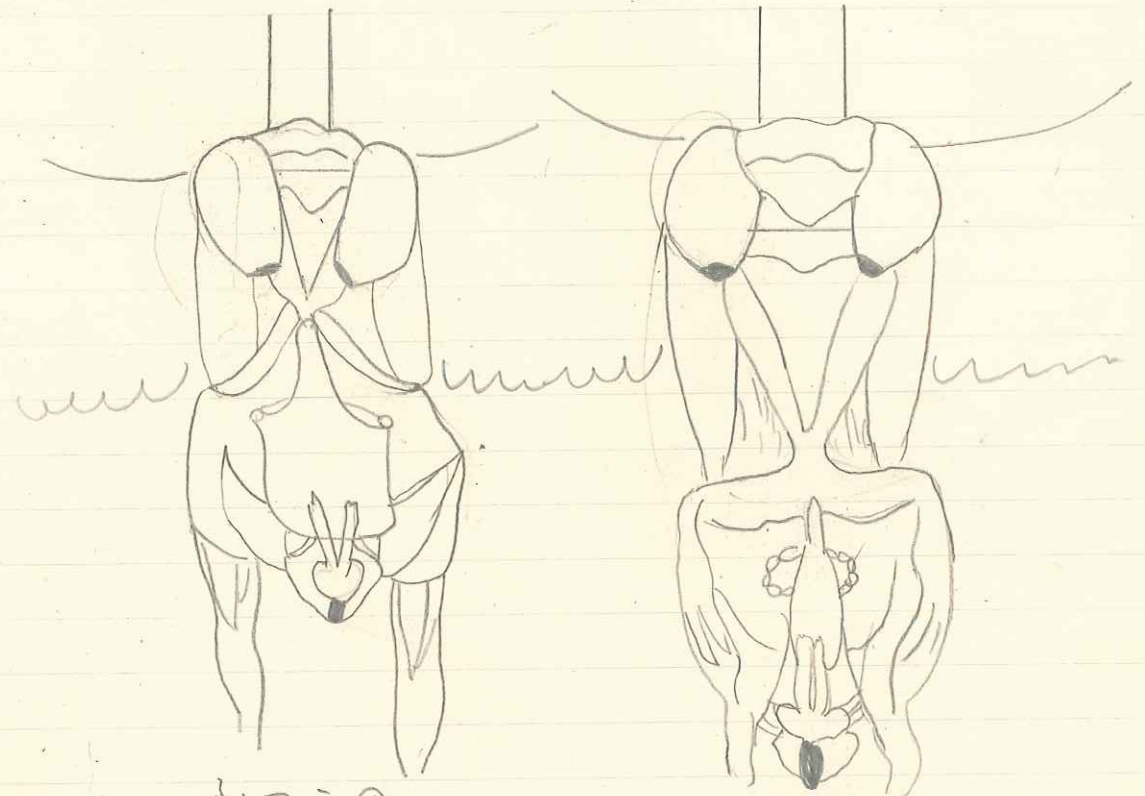
とくちょうがあります。

|                         |                             |
|-------------------------|-----------------------------|
| ⑥ 走りがたがはやく、食物ははやくついでむ   | ⑥ いっぱんにゆつかりあるきながかり食物をさがしてゐる |
| ⑤ 声は、かんたんである。           | ⑤ 声は、いろいろでとくちようがある          |
| ④ 首は、いっぽんにみちかい          | ④ 首は、いっぽんにやや長い              |
| ③ 足の指が三本で後ろのやびかないのがふつうだ | ③ こうしろやびがあるのがふつうだ           |
| ② 頭がまるく大きく目も大きい         | ② 頭は、うぱんにちいさく目も小さい          |
| ① コぼしは、はとのようにみちかい       | ① コぼしはいちばん長く、いろいろな形をしてゐる    |
| チドリ                     | ツギ                          |

2. チドリとツギは、はんたいになっている。

## 29. 水を泳ぐ鳥

人下の図は、ふつうのカモと、もぐりカモです。



ふつうの

カモ

もぐり

カモ

水を泳ぐ鳥は、どうにか

ながく、足もながいから

歩くのがよい。

### 30 舌のはたらき

舌の味を感じるほかに食物を  
取ったり、飲みこんだりするのに  
たいせつな役めをしています。

舌の形は鳥のしるいによって 習性した  
形に、適応した形をもっています。

#### キツネのなかま

舌の形は、たいへん長く、先の角  
質部は、かぎ形になっているので  
木の中の中の昆虫を引き出すのに  
まきしています。

#### ミドリヤハト

舌の上に角質部でおおわれていて  
うしろのほうに向って小さな突起を出して  
います。

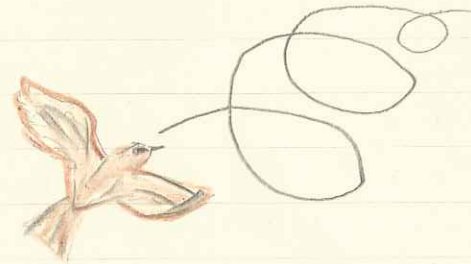


アカゲラ

### 31 いろいろな鳥の飛び方

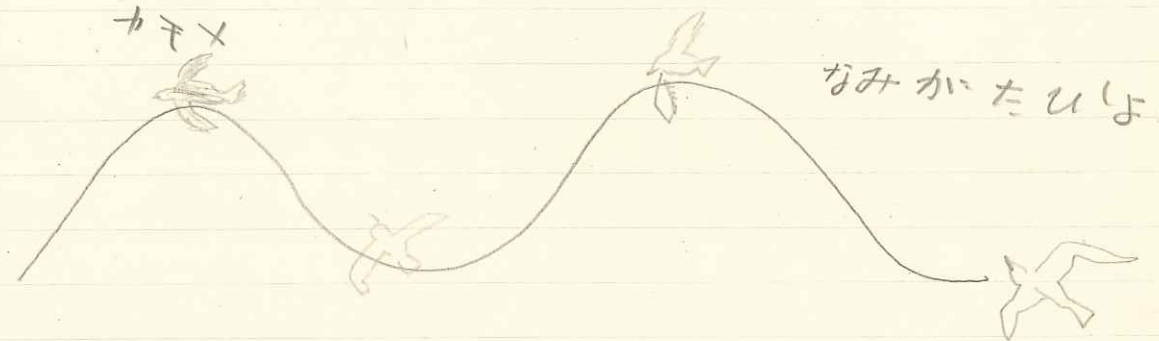
トビ

田形ひょう



カキ

なみかたひょう



ミズナギドリ

なみかたのひょう



ツバメ



ハト



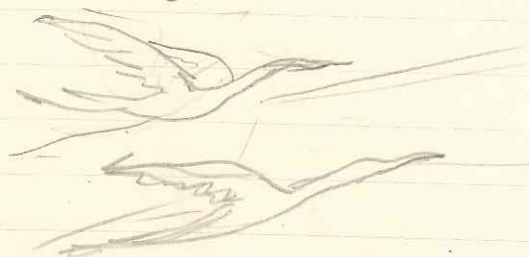
なみがたのいさ いさ

ミズナキドリ



はんしょう

つる



ちよせししょう

### 32 尾の形

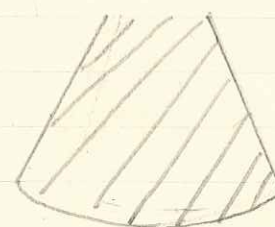
いろいろな鳥の尾



角尾



えん毛



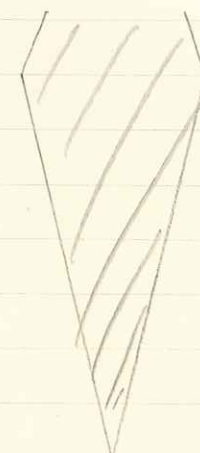
円尾



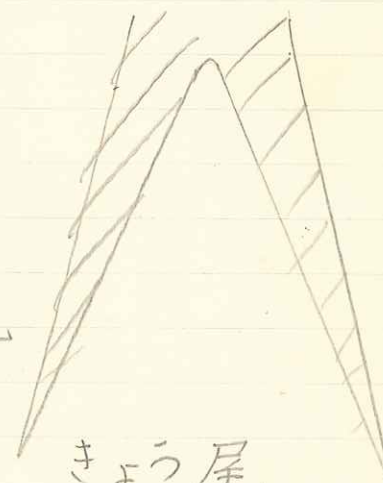
鳥尾



魚尾

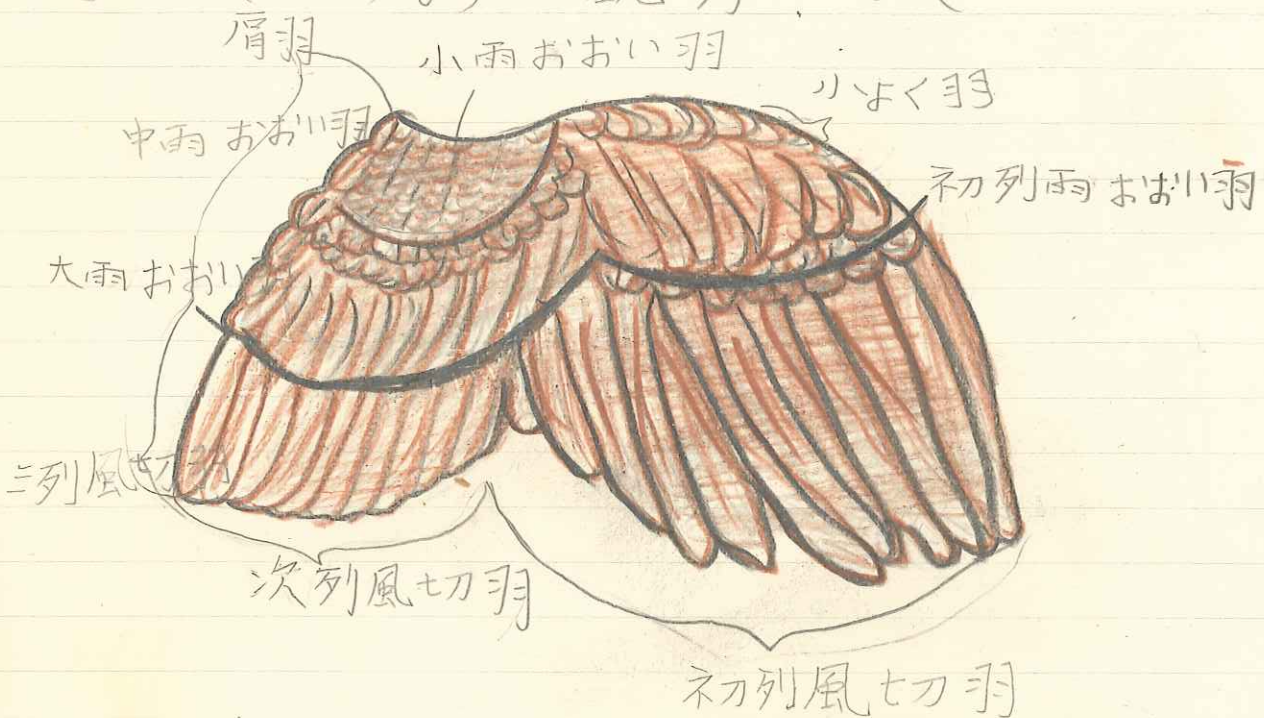


くさび形尾



きょう尾

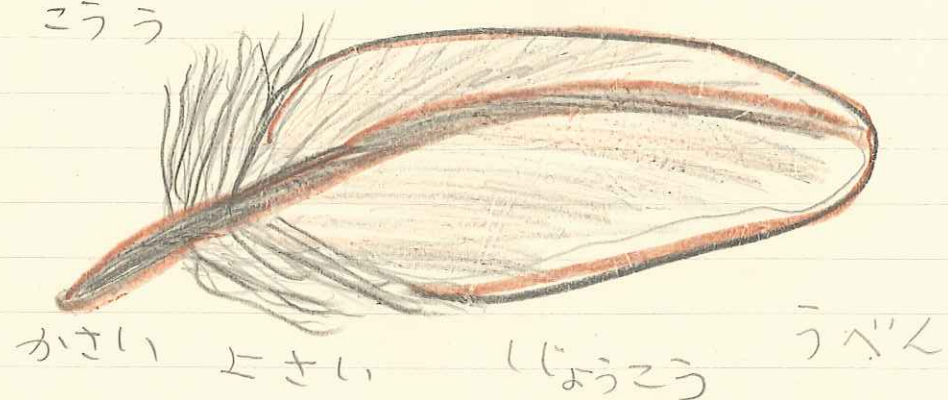
33 3つばさの うもりの 西に列う いき



羽毛の 各部の名しょう

うじく

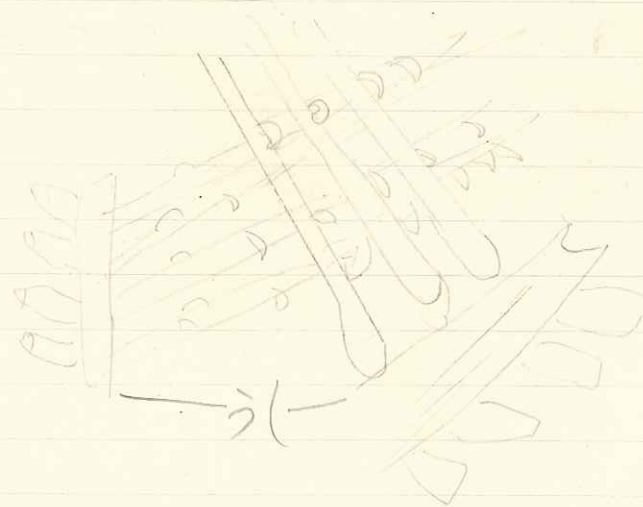
こうう



こくてんの 音部分か=羽のはえる (羽いさ) とこ



羽の一部分の 拡大



つばさは、鳥がとぶためには、非常に強い空気のていこうがありますし、風が強かったり雨が降ったりしても、飛べるように、つばさの羽毛は一本一本が、かぎのように糸目合わされています。

20

「ハートの内々」は、  
父が書いて下さった  
糸会です。



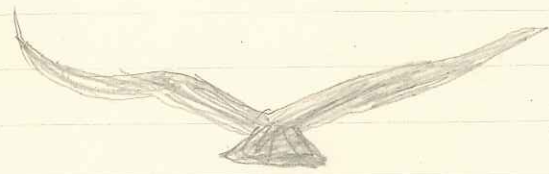
ハネのほうは、  
兄かにかいて下さ  
った魚会です

初初大雨覆

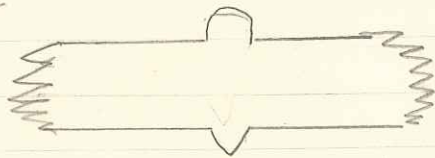
額側耳背  
 肥喉  
 頸側  
 脚  
 胸  
 腋  
 中雨  
 4  
 雨  
 震  
 震

ワシの各種類

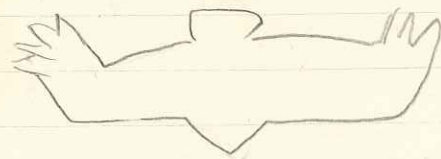
34 正面から見た「イヌワシ」, 「トビ」, 「チュウヒ」



イヌワシ



トビ



チュウヒ



イヌワシが  
急降下し  
うつる時の  
翼のかかり方



くまたか



イスリ



チュウヒ



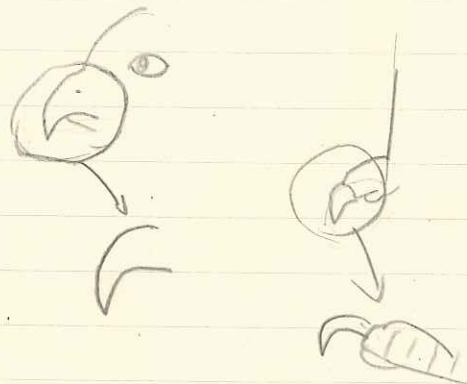
リウチャウ  
山林にすみ  
小鳥を  
たばきの  
す



○ハヤブサ  
海岩の(岩)かけて  
はんなくする。



特 ちょう



トヒ"

留鳥  
農村や海岩に多い

- 1 頁
- 2 =
- 3 =
- 4 =
- 5 =
- 6 =
- 7 =
- 8 =
- 9 =
- 10 =
- 11 =
- 12 =
- 13 =
- 14 =
- 15 =
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28

目 欠  
いろいろな鳥の なかまに  
ついて

ズズナ

いろいろな鳥の 絵

まとめ

わかったこと

さくいん  
鳥のなかま

スズ\*(\*)についで

絵

まとめ

とりをいってめが、たこと

35. いろいろな鳥のなかまについて

[illegible]

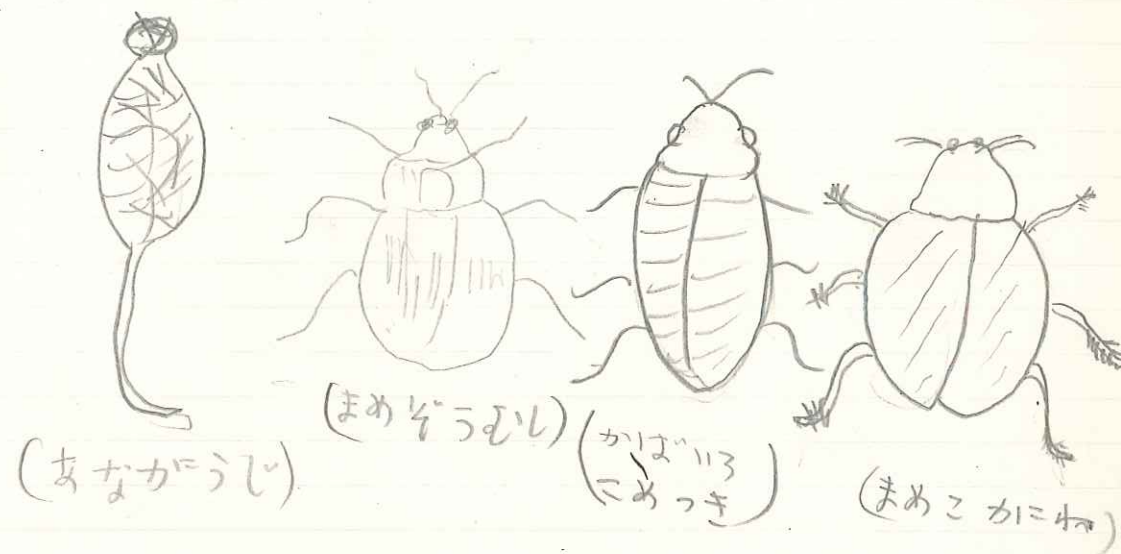
| 目白科   |     |        | せきい科 |    |      | 辛有   |     |      | しじかう科 |        |        |     |      |    |    |      |     |     |    |     |
|-------|-----|--------|------|----|------|------|-----|------|-------|--------|--------|-----|------|----|----|------|-----|-----|----|-----|
| かごしまは | めいろ | しちとうめい | しりじま | しま | りやんま | はるせき | せぐろ | きんせき | つめがせき | にじゅうかう | しじゅうかり | あまみ | やまかり | なみ | たぬ | やぐしま | あまみ | こから | んが | つしま |
| ○     | ○   | ○      | ○    | ○  | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○      | ○      | ○   | ○    | ○  | ○  | ○    | ○   | ○   | ○  | ○   |
|       |     |        |      |    |      | ○    |     |      | ○     |        |        |     |      |    |    |      |     |     |    |     |

| もよう科 |        | ひよこり科 |      | ひたき科 |      |      |      |      |      |      |      |      |      | うぐい  |      |
|------|--------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| えなが  | きくいたたき | モズ    | アカモズ | ノゴモズ | ひちよこ | ひよこり | ひよこり | ひよこり | ひよこり | ひよこり | ひよこり | ひよこり | ひよこり | ひよこり | ひよこり |
|      |        | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| フグミ科 |     |     |     | ひはり科 |     | かかせ科 |     | きつつき科 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| フグミ  | フグミ | フグミ | フグミ | フグミ  | フグミ | フグミ  | フグミ | フグミ   | フグミ | フグミ | フグミ | フグミ | フグミ | フグミ | フグミ | フグミ | フグミ |
| ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○    | ○   | ○     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |

36. スズメ  
人たべもの

害虫



言葉

いよいよあぶないことは  
「チュンチュン」 「チ、チ、チ」 夕暮めて  
たたかい  
「チュンチュン」 「リ、リ、リ」 くりかえして  
よいあし  
「チュン チュン」  
助けをもちめる  
「チチチ」 くりかえす  
飛ぶ場合  
「チュビ チュビ」

# すずめ

## ○食物

I 稻・黍・稗・麦・粟

II ほもの科・あかき科・ゆり科・たて科 木の实 かたはち科  
かまぐさ科・くちびるはな科 その他

## III 鱗翅目

（おおむし すじおおむし 煙草のおおむし）  
いねのおおむし 葉のおおむし もんしちやう（幼虫）  
きちやう（幼虫）つまきちやう（幼虫）いちもんじせり  
はなせり 糸のはまぐり虫 はまぐり虫 大豆の  
はまぐり虫 桑のすずめしみのむし いもむし  
うめけ虫 けむしまつげ虫 めいぢやう その他

## IV 鞘翅目

（はあじ・うりはむし・さるはむし・ういはえ こめつき虫）  
かはいるこめつき虫 てんとう虫など まし、そうめ  
こがね虫、その他の甲虫類

## 直翅目

いなご バッタ こあるき けら

## V 半翅目

せみ うんか あぶら虫 かんごのおぶら虫 めんぢやう  
あぶらむし

## VI 膜翅目

かぶらばち あり はあり



すずめ

にやなり  
すずめ



すずめは（米）その他の（農）

作物をあらすかに いねの 害する虫を

たべ いっぱい 内世のすずめ ではなく  
秋に、まじり 道 からわたって来る にやなりすずめ  
なのです。

たまごはふつう 6〜8個 うみ 24〜25日で  
おやになる

アオムシ

バッタ

イネ そば、あめ、小豆 など

37 いろいろなとりのも  
人冬鳥



マガ



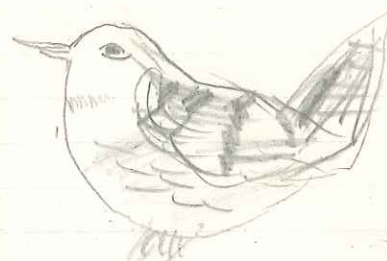
マガモ



ハクチョウ



クサビ



ヒソサザイ



マヒワ



アオシロ



シギ



ツグミ

夏鳥



ホトキス



サコウチ



カワセミ



フツボ



アカモズ



ゴイサギ



ツグ



ギシ



コマドリ

フコシキ

。

(1)

とりには、

りゅうちやうや 夏鳥や冬鳥や まきえ鳥や  
すりえ鳥や旅鳥などにはわかれていて、

(2)

とりは、

巣をつくるのにくろうし、

めすは、たまごをうみ、何日かて  
育て、かえす。

(3)

とりによって、

たぐいのや、よりこ、ゆるいこと  
ながかある

(4)

国々には、

いろんな鳥 がいるということ

(5)

みずとりは、巣を水の上、あげてつく  
るとき、たくさん小えだをおめ  
かされて、つく。

6) とりによって、たぐいのや、たまごの大きさ、  
からだは、ちがう。

(7)

しじかたや っぱさのしゆるいは、  
たくさんある。たとえば

・ なみ 形

・ 平行 形

・ 円 形

・ ちかくせん形 そのほかいろいろある

(8)

とりの 舌や尾のはたらき

(9)

足には、いろいろある

(10)

たまごは、とりによ、ちがう

### 39 わかったこと

1. とりたちは、人向とおなじだ。  
たが、すむばしや、あるくばしや、か  
ちかろう
2. 人向たちととりは、家をつくった、  
巣をつくったりしたくろうかわかる。  
?
3. なつとり、冬とりがわかった
4. とりのしやうい、かわかった。
5. とりのからだや、はいやう
6. とりのとひかた
7. とりのたべもの
8. おやたちが、たまごをかえす回数や、  
す立までの、回数
9. とりの羽毛の量
10. とりの尾や舌のはたらき
11. とりのなきかた

### ○ せわになった人

父 兄 母

### ○ かった本

鳥の図鑑

ラベル  
(4冊 1冊)  
図書 かんの本

### ○ 反省

・ 全はんときに 字がにまたなかった

・ 帳面の つかい方がわるかた